


長野県_白馬村_白馬 五竜

持続可能な地域活性化・少子化対策に結びつく取組
 [恋人の聖地 第3回地域活性化大賞 応募様式]

プロジェクト名	恋人の聖地 オールシーズンサステナブルリゾート白馬村
申請者(地方自治体名・団体・企業名など)	長野県白馬村/白馬五竜
1.地域・施設の特徴	<p>日本が世界に誇る白馬村。 長野県白馬村と隣接する白馬バレーは長野県内の北側、新潟県と隣接した日本アルプスの山間部に位置し、1998年冬季オリンピックではスキージャンプ競技が行われました。北陸新幹線長野駅から高速バスで1時間、長野IC、安曇野ICから車で約1時間、スノーシーズンは毎晩新宿、大阪から夜行バスも運行されアクセスが便利なリゾートです。</p> <p>豊富な積雪とパウダースノーが世界的にも人気で、冬季は国内外から多くの観光客が訪れる白馬村。白馬エリアには、八方尾根、岩岳、樽池高原、エイブル白馬五竜、Hakuba47、白馬コルテナなど全部で、10のバリエーションに富んだスキー場があります。日本の質の高いパウダースノーは海外で「Japow」(Japan+Powder Snow)と称され、白馬は世界でも最高のパウダースノーが楽しめる場所として認知されています。</p> <p>春から秋までのグリーンシーズンは、3000m級の山々が連なるフィールドを楽しむ登山だけでなく大自然を満喫できます。</p> <p>アウトドアアクティビティや温泉、歴史や特産品など、訪れた方にここでしか味わうことができない感動と特別な時間をお過ごしいただけます。</p> <p>また、北アルプスは高山植物の宝庫。特異な地理条件からいくつもの異なるエリアの高山植物が一緒に植生し、このエリアでしか見ることのできない貴重な高山植物をはじめ、絶滅危惧種や固有種が多く分布しています。北アルプスの雄大な景色と、高山植物の共演が楽しめるエリアです。</p> <p>2010年ごろから主にオーストラリアからのインバウンドが急増しました。白馬村、大町市、小谷村、大北地区索道事業者協議会、各市村観光団体が一枚岩となって設立した組織一般社団法人HAKUBA VALLEY TOURISMは、国内観光客の入込をベースに、外国人観光客の滞在環境の整備やプロモーションの更なる強化により入込を増加し、通年にわたる安定した顧客の確保を目指しています。</p>
2.地域活性化に結びつく活動目標・目的などについて	<p>インバウンド ・世界のスノーリゾートを目指し、国内観光客の入込をベースに、外国人観光客の滞在環境（サインや案内看板等）の整備やプロモーションの更なる強化により入込を増加し、通年にわたる安定した顧客を確保します。</p> <p>サステナブルリゾート ・白馬村の事業者や村外のパートナー企業がカンファレンス、ワークショップを重ねながら白馬村の未来をつくっていくサステナブルで「楽しい」未来を目指すプロジェクト「GREEN WORK HAKUBA」を開催。自然環境を生かし、白馬地元企業からの課題を解決し、村内の企業が一体となってサステナブルなマウンテンリゾートを目指します。</p> <p>スキーリゾート ・長い歴史のあるスキー文化を親しんでもらうため、昭和スキーヤーに扮して投稿し合うオンラインイベントや、昭和時代の展示などのイベントによってスキー文化、雪山文化への理解を深めます。</p>

	<p>SDG'sの取り組み ・大自然の中にある村だからこそできるSDG'sに沿った取り組みを行い、先進的な地域として認知してもらうための村内外を超えた啓発活動を促進しています。</p> <p>・山岳案内、ボランティアガイド、登山道整備など、国内のみならず世界に誇れる山岳観光活性化を目指しています。</p>
3.地域活性化に結びつく活動内容・実績などについて	<p>サステナブルなナイトスキー ・「恋人の聖地」幸せの鐘のあるとおみゲレンデは、スノーシーズンは、幻想的な夜のゲレンデを滑走できる白馬エリア唯一のナイトスキーゲレンデをOPEN。ライトアップされた幸せの鐘と恋人たちの景色は、白馬でしか味わうことのできない場所です。レストラン、カフェを営業しナイトスキーをしない方にも、雪景色、光や星空、ライトアップは恋人たちの特別な時間となります。</p> <p>・また、とおみゲレンデのナイトスキー（リフト稼働、照明、降雪機）は、国内唯一100%再生可能エネルギー電力で稼働し、環境負荷を減らし、未来の子どもたちへ繋ぐ活動です。同じく白馬村内の八方尾根スキー場もリフトの8割を再生可能エネルギーで賄っています。白馬村全体のサステナブルなイメージに貢献しています。</p> <p>ナイトゴンドラ ・グリーンシーズンは、北アルプスとともに満点の星空が広がるアルプス平へのナイトゴンドラを運行します。一面に散りばめられた無数の星、数分おきに駆け抜ける流れ星、夜空と横断する天の川は、大切な人と過ごす特別な空間を演出します。</p> <p>グリーンシーズン ・GREEN HAKUBAでは冬のスノーシーズンだけでなく春夏秋の白馬の魅力を作り発信するため、GREEN HAKUBA認知向上のためのビジュアル制作、掲示、ステッカー製作と配布、春夏秋の白馬の自然を満喫できる体験型アクティビティイベントを行っています。</p> <p>・スノーシーズンの終わりには、GREEN HAKUBA CLEAN ACT.を開催。白馬ヘスキー・スノーボード・観光で来村されるお客様とゴンドラ・リフトを運営する索道会社、アウトドア・キャンプ用品の販売店、アクティビティ施設、レストラン・宿泊施設などの地域住民が一体となって、スキー・スノーボードで楽しんだ白馬のゲレンデをきれいにするマウンテンクリーンは、白馬の雄大な自然を守り未来に繋げていくためのプロジェクトです。</p> <p>・スポーツの魅力推進、スポーツ文化振興を促す「マウンテンフェスティバル」を開催し、国内外で自然と向き合う人や、様々な背景を持って山岳アクティビティをする人にフォーカスした映像を集めた上映会を行いました。スノーボードを起点にサーフィンなど“横乗り”スポーツを特集した上映会も行い、集客につなげました。</p> <p>・北アルプス連峰百名山の一つである五竜岳のふもとにある小遠見山トレッキングコースでは、気軽に標高2000mの周囲が見渡せる小遠見山へアクセスしてもらうため、地域のひと協力し毎年整備ボランティアによるメンテナンスを行っています。</p> <p>白馬五竜高山植物園 ・五竜岳から白馬岳といった北アルプスの景観が間近に見える標高1515mにある展望の良いロケーションにある高山植物園です。スキー場の夏を利用し、ゴンドラやリフトに乗ることで、どなたでも気軽に長野県らしい山岳景観に出会える場所です。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県らしく、白馬らしく、花、山、人と揃ったおもてなし。をテーマに第7回「信州おもてなし大賞」を受賞しました。 ・公益社団法人日本植物園協会の会員として植物園や植物に関する文化の発展と科学技術の振興、自然環境の保全に貢献する事業を行っています。高山植物の絶滅危惧種の保全活動や、ライチョウ保全事業において食草の高山植物栽培・供給を行うなど環境省と連携した活動を続けています。また夏休みのイベントでは展示やツアーイベントで子供たちにも親しんでもらえる企画をしています。 ・白馬 ALPS 花三昧（2003 から 2019 まで）では、春夏秋の時期、花のある観光スポットを巡る周遊バスを設け夏の白馬と言えば「高山植物の花々」と周知されるようになりました。白馬村 women's クラブ主催のエディブルフラワーを使った白馬村の特産スイーツを販売し、より花であふれる白馬村を演出し、印象づけることができました。 <p>SDG's の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Hakubavalley SDG's 小委員会を結成し、事業者向けの目標チェックシートを作成、配布し、白馬エリアに住む人々が楽しく取り組めるよう勉強会や親しめるイベントを開催しています。また白馬エリア外への発信を強化するためこの地域で SDG's な暮らしをしている人々を紹介する動画、冊子制作による発信を行っています。 ・白馬五竜高山植物園では、足腰の悪いお客様にも花々を楽しめるようアウトドア用の車イス（一輪車）トレイルライダーを活用し、ダイバーシティに取り組んでいます。 <p>インバウンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期滞在するインバウンド客に、滞在中の白馬エリアのディナーを楽しんでいただくため宿泊施設以外の白馬村内の飲食店を回れるような周回バス「元気号」を運行しています。 ・日英表記の村内レストランガイド、「エッセンシャルガイド」を作成。アクセス情報、日本の文化や慣習マナーの紹介、などインバウンド客にとって有用性の高い情報をまとめ宿泊施設やスノーリゾートなどで配布しています。 ・白馬エリア内のサイン看板の日英表記、ルールを統一するためデザインコード委員会を設立し空車のわかる屋外駐車場の掲示看板の新設や、表記改善を行っています。 <p>グルメ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力的なブランドづくりとして、高山帯でのみ生育する「花豆」を使い長野県長門牧場のミルクを使った「花豆ソフトクリーム」、白馬産フレッシュほおづきと花豆の餡を使った「ほおづき大福」など地場メニューを考案しゴンドラ駅レストランのレギュラーメニューにしました。 ・白馬村地元食材そばを広く知ってもらおうと、独自の基準を設けたそばガレット職人「白馬クレーピエ」を育成し、150人以上の「クレーピエ」が村内で魅力的なそばガレットを提供しています。 ・道の駅などでは白馬地域で昔から親しまれている紫米をリブランディングし新しい食材としてこれまで知らなかった観光客へアピールしています。 <p>サイクルツーリズム</p>
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・白馬五竜観光協会が主催の「五竜サイクルフェスタ」では、村内を一日かけて自転車で満喫してもらうためのイベントを6年連続での開催をはじめとして、サイクルツーリズムを推進しています。 <p>オープンガーデン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「恋人の聖地」スポットの一つ、エスカルガーデンでは魅力的な高原ガーデンをと工事を重ねガーデン内を流れる小川やウッドテラス、散策路の整備を行い四季折々の野草や花々を楽しんでいただいています。 ・さらに、有志の組織「Open Garden of Hakuba」で村内28カ所程を観光客に周遊する取り組みをしています。 ・ガーデンツーリズムを推奨し、白馬村だけでなく隣接の大町市、小谷村のガーデンとも連携して旅行会社に企画を組んでもらい集客に努めています。 ・現存している宿泊施設、個人の自宅、商業施設庭園などを繋いで観光客が周遊してもらえるコンテンツ創り、サステナブルなツーリズムになる事を目的としています。 <p>少子化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白馬村としては、少子化対策事業に関連し、地域おこし協力隊の制度を積極的に活用し若い世代の移住・定住の促進を行なっています。ライフスタイルの紹介や相談など移住者の目線になり、村づくりに必要な実行者を外から積極的に呼び込みます。 ・同じく少子化対策事業に関連し、H29年より子育て支援課を設け、出生率の増加を目指し小児科オンラインの開設、子育て支援アプリ「おひさまメモリーズ」を活用しています。 ・白馬村商工会では、将来的な移住・定住につなげたいというねらいからゲレンデを活用した白馬ならではの冬の婚活イベント「ゲレ婚 in 白馬五竜」を開催し、若い男女の出会いの場を設けようとスノーボードを滑った後パーティを楽しみ20~40代の男女15名が参加しました。
<p>4. 取組みに関する広報活動・SNS配信などについて (※審査以外での掲出・公表しません)</p>	

5. 活動の効果(地域の反響) (※審査以外での掲出・公表しません)	
6. 数字で表す実践前と実践後の成果・比較 (※審査以外での掲出・公表しません)	

7. 成果・注目ポイント(写真と説明文)	
	
「恋人の聖地」白馬五竜スキー場でスノボを愛する二人がホワイトウェディングを行いました。「幸せの鐘」を二人で鳴らし、友人らがバルーンリリースで祝福。居合わせたスキー客200人が二人を見守り心温まる結婚式となりました。	白馬村内唯一のスキー場ナイター営業を行うのは「恋人の聖地」幸せの鐘のあるエイブル白馬五竜。2019年冬にリフト、降雪、照明すべてを賄う「再生可能エネルギー」が開始。再エネ営業スタート記念のオープニングセレモニーが行われました。
	
植物研究の大学合同セミナー 東京大学、東京学芸大学、立教大学、岡崎統合バイオエンスセンターの皆様が合同で研究の成果発表をする合宿が行われました。	白馬五竜高山植物園の環境省と連携した絶滅危惧種保護活動を行っています。 白馬五竜高山植物園正会員118園、大会時には120名以上が参加。
	
第7回「信州おもてなし大賞」を受賞した白馬五竜高山植物園では、植物専門の学芸員スタッフによる植物園内散策ツアーやビジターセンター展示等を地域の人や観光客に自然に生きる植物に親しんでもらっています	地産地消メニューを目指して白馬周辺エリアなど高山帯でのみ生育する「花豆」を地域の中学生と一緒に植え、情報交換会などを行い「恋人の聖地」のあるレストランの新メニューに。



白馬五竜スノーフェスティバルイベント 地域のスキー場、地域の宿泊施設、観光協会一体となったイベントとして、観光を盛り上げ、地域活性化につながるシンボルとして使われています。



「恋人の聖地」幸せの鐘では、冬の間夜のイルミネーションを実施し、若年層の大切な人と撮影いただけるよう記念写真スポットを用意しました。



マウンテンフェスティバル「横乗り映画祭」スノーボードだけでなく、サーフィン、スケートボードなど“ヨコノリ”スポーツの文化振興を促す複数の映像フィルムを上映し集客にもつなげました。



ひな祭り抽選会 3月3日に女性ゲストを中心にプレゼント抽選会を行いスキー場や周辺施設の地域活性を刺激する商品を配布しました。



「恋人の聖地」バレンタインイベントでは太鼓、抽選会、チョコレートタワーのおふるまいなど若年層へ地域観光を働きかけ冬の集客へ繋がりました。バレンタインイベントのチョコレートタワーは子供たちも喜んでもらえる楽しいイベント。



「恋人の聖地」幸せの鐘のあるとおみゲレンデでは、スキー場営業最終日にマウンテンクリーンイベントでボランティアのお客様150名とゴミ拾いイベントを開催。記念にGREEN HAKUBAオリジナルTシャツをプレゼント。他に2つのスキー場でも同時開催されました。



SGD's勉強会 大町・白馬・小谷で同時開催された目標チェックシートの説明や、動画の紹介、専門家による登壇などを行い「恋日能登の聖地」スポットの幸せの鐘のある敷地内が会場になりました。



ゲレンデを活用した白馬ならではの冬の婚活イベント「ゲレ婚in白馬五竜」を開催し、若い男女の出会いの場を設けようとスノーボードを滑った後パーティを楽しみ20~40代の男女15名が参加。



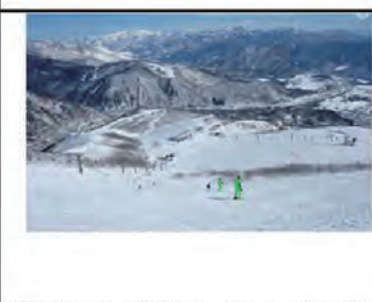
7月第2週は「海の日」にちなんだ海洋ゴミをなくそう、海ゴミゼロウィークイベントに参加し、地域の子供たち、若い男女の有志の方たち50人以上で「恋人の聖地」幸せの鐘をスタートに一級河川のゴミ拾いイベントを行いました。



JC長野ブロック大会 in 北アルプス SDG'sフォーラム、多子社会フォーラムを開催しました。



オープンガーデンオブ白馬 白馬ALPS花三味では白馬花物語として飲食店、宿泊施設の各ガーデンを周遊してもらえるよう、ガイドマップを製作、配布し多くの人に白馬のガーデンを楽しんでもらいました。



白馬村内の八方尾根スキー場もリフトの8割を再生可能エネルギーで賄っています。白馬八方尾根スキー場で一早く再生可能エネルギーに切り替えた黒菱ゲレンデのリフト。



小遠見トレッキングコースの整備 毎年雪どけの6月に、観光組合の方の協力の下数日間かけて雪で崩れた登山道を整備して夏山登山文化、夏山観光に貢献しています。



白馬村の事業者や村外のパートナー企業がカンファレンス、ワークショップを重ねながら白馬村の未来をつくっていくサステナブルで「楽しい」未来を目指すプロジェクト「GREEN WORK HAKUBA」は4回開催。



オープンガーデン魅力化 「恋人の聖地」スポットの一つ、エスカルガーデンでは魅力的な高原ガーデンをと工事を重ねガーデン内を流れる小川やウッドテラス、散策路の整備を行い四季折々の野草や花々を楽しんでいただいています。



足腰の悪い方にもトレイル環境を楽しんでいただくためのカナダからきた車いすサービス。自然の美しさを楽しみたい祖父母へのプレゼントに、と人気で集客につなげ、ダイバーシティ、サステナビリティにも貢献。